



Health and
Exercise Science

Sport Management

ここにしかない**学**びが
スポーツ健康科学の**未**来を創る

Sport Science

Sport Pedagogy

R立命館大学
スポーツ健康科学部

2021

「スポーツ」と「健康」を科学する。 4つのコースの学びを踏まえ、 社会に貢献する実践力と 大きな視野を育む。

今、社会では、健康の維持・増進に役立つ科学的な運動指導、日常生活を充実させる存在としてのスポーツのあり方が求められています。このような社会的ニーズに応えるため、スポーツ健康科学部では総合的・学際的な観点から「スポーツ」と「健康」に関わる幅広い課題にアプローチします。

理学、工学、保健衛生学、医学、教育学、経営学などとあわせて、実践的な活動にも取り組むことで、現状の課題を把握し、解決策を提示できる人材を育成します。

そのために、体系的なカリキュラムを用意しました。1・2年生ではスポーツ健康科学に関する基礎的な科目を学び、3年生から多様な関心や目指す進路に対応した「スポーツ科学」「健康運動科学」「スポーツ教育学」「スポーツマネジメント」の4コースに分かれて専門的な学びを深めます。

4つのキーワード

科学的に競技力を向上させる

健康の維持・増進を図る

保健体育・多様なスポーツに関わる指導法を探る

組織の運営を学ぶ



スポーツ科学



自らの体験を糧に
女性アスリートをサポートする

山口 あかり さん 3年生
長崎県・長崎県立大村高等学校出身

高校まで続けていたソフトテニスで度々怪我をしていた経験から、選手の近くでサポートできるスポーツトレーナーになりたいと思い、この学部に入學しました。

学部での学びの中で、自分の怪我が月経不順などの女性特有のからだの異常が原因だったことを知りました。誤った認識で女性の体に悪影響を及ぼすことは、スポーツの良さを台無しにすると感じました。

現在は、アスレティックトレーニングと共に女性アスリート特有の障がいなどを学ぶため、米国公認のアスレティックトレーナーの資格を取得するためのプログラム(GATプログラム)に参加し、スポーツ医療が進んでいるアメリカの大学院で学ぶ準備をしています。

将来は女性アスリートのサポートや女子ユースアスリートの指導者教育に携わりたいと考えています。

最先端の施設・設備に囲まれ
実践へ活かすスキルを学ぶ

後藤 一成 教授

スポーツ科学コースは、バイオメカニクスやスポーツ工学のみならず、運動生理学や生化学に関することまで、幅広く学べるのが特色です。なぜオリンピック選手は強いのか、選手がさらに高いレベルを目指したい時にどんなトレーニングをすればよいのかなど、身体の機能の高め方や動作について、理論的に考えていくのがスポーツ科学コースと言えます。



健康運動科学



部活動でのパフォーマンス向上を
自らの学びから実践する

鵜子 なつめ さん 3年生
マレーシア・立命館宇治高等学校出身

大学ではサッカーをやりたいと思い、女子サッカー部のある立命館大学に入学を決めました。

入学当初は、スポーツに関することを学びたいという漠然とした気持ちでしたが、授業で運動と食事を組み合わせることで状況判断能力に改善がみられるという論文を読んだことがきっかけで、認知機能について興味が沸き、ゼミでは状況判断能力に関わる実行機能について研究しています。

この学びは所属している女子サッカー部でのパフォーマンスの向上にも活かすことができると考えています。

2年間で面白いと思うものが見つけれられた私のように、スポーツのどの分野に興味があるのかを見つけれられる学部です。今後は、インターシップなどにも参加しさらに興味を広げていければと思います。

健康の維持・増進に貢献できる
運動指導者の育成を目指す

橋本 健志 教授

運動量・身体活動量の増加や、体力の向上によって様々な運動器傷害や生活習慣病になる確率が下がります。本コースでは、健康の維持増進に対する運動・身体活動効果のメカニズムを学んだ上で、健康を保つためのプランを提案できる人材を育成、運動器傷害を原因とする体力の低下や、生活習慣病などの予防に貢献できる知識・実践力を養います。



スポーツ教育学



部活動でも活きる
信頼を築くスポーツ教育学

山下 健輔 さん 4年生
静岡県・私立静岡学園高等学校出身

小学生の頃からバスケットボールをしていて、父親がコーチだった影響もあり、将来教員になりたいと思い、本学部を志望しました。

大学ではスポーツ教育学や指導方法論について学んでいますが、特にスポーツにおける心理学に興味を持っています。現在バスケ部で主将を務めていますが、スポーツ心理学で学んだ、どのような指導をすれば選手とコーチが良い関係性を築け、パフォーマンスを向上させることができるかを、チームをまとめ引っ張っていく立場で実践しています。

バスケ部では週に2回ほど、草津養護学校へバスケの指導に行っています。将来教員になりたい自分にとって、子どもとの接し方や考え方は大変勉強になっています。まだまだ知識が足りない部分もあるので、自分が教育現場に出た時に効果的な授業ができるように研究を進めていきたいと思っています。

科学的アプローチで
人を「育てる」技法を学ぶ

上田 憲嗣 准教授

体育・スポーツに関わる指導理論・実践を学ぶコースです。教育学・栄養・コーチング学・心理学・発育発達学・障がい者スポーツ等、バラエティーに富んだ領域において、指導実践の行い方を常に問いかけることが、本コースのコンセプトです。教員や、スポーツ指導者いずれも、科学的根拠に基づいた指導技術・指導方略が重要となります。



スポーツマネジメント



幅広い学びを通して
教員への夢からのシフトチェンジ

二宮 将太 さん 4年生
千葉県・千葉県立千葉東高等学校出身

小学生から野球に打ち込んできたため、身近な存在であった監督や学校教員になりたいと思い、スポーツ科学だけでなくチームなどの組織マネジメントが学べる本学に入学しました。

大学に入学し、スポーツチームに限定しない経営論を学ぶうちに、社会の広さを知り、スポーツチームではなく企業の経営をサポートしたいと思うようになりました。

そのため、ゼミ選択では組織心理学を学べる山浦ゼミを専攻しました。現在は、就職活動をする中でロゴを多用している企業ほど、まとまりが強いのではと思ったことをきっかけに「ロゴマークによって組織への帰属意識がどう高まるか」について研究しています。

卒業後は大学で学んだ組織マネジメントを活かして、IT企業で人事などの経営管理を担当部署で働く予定です。

スポーツを通して
社会での実践スキルを身に付ける

山浦 一保 教授

観る、する、支えるなど、非常に多面的なスポーツと人との関わりをさまざまな角度からデザインするのが、スポーツマネジメントの世界です。スポーツを題材に、リーダーシップやマネジメント、マーケティングなどの社会に通用する実務的なスキルを身につけるとともに、スポーツの振興についても考察します。



「10年の時を刻み、そして未来に向けて…」



立命館大学スポーツ健康科学部は
2020年度、学部創設10周年をむかえます

2020年度は、在学生・卒業生・教職員、また「立命館」の扉を開こうとしている皆さんにとっても特別な時を迎えることとなります。それは、1869年に西園寺公望が私塾「立命館」を創始し、その意志を引き継いだ中川小十郎が立命館大学の前身となる「私立京都法政学校」を創設して、今年で120周年となります。同時に、スポーツ健康科学部も2010年度に産声を上げ、創設10周年という記念すべき時を迎えることになりました。「スポーツ健康科学」は、「人々の健康と幸せ、また世界の平和に貢献しうる学問」であると私たちは考えています。立命館は、「新しい未来を切り拓く」という視点を大切にしており、学部創設から10年の時を刻みましたが、変わらず大切にしたいと思っていることは、「未来を生み出す人」を育てるということと、「一人ひとりの学生と丁寧に向き合う」ということです。皆さんが、いまここにはないもの、いまここにはない世界を創り出そうと果敢

にチャレンジをしようとする際に、私たちはその土台になることができればと思っています。そのために、私たちは、皆さんの前を立ちはだかる大きな壁になることもあるでしょう。ただ、皆さんが私たちの元から巣立つ時に、「乗り越えられた」と実感できるように、皆さん一人ひとりと丁寧に向き合っていきたいと思っています。私たちの日常生活を一変させてしまうような事態が生じていますが、このような状況だからこそ、人々の健康と幸福、そして世界の平和に資するスポーツ健康科学の新しい未来を皆さんに切り拓いてほしいと思います。立命館の扉を開き、スポーツ健康科学の新しい未来をイマジン(想像)して、クリエイト(創造)する、そしてそれを皆さんの手でリアルイズ(実現)して下さい。

スポーツ健康科学部 学部長
長積 仁 教授

3回生から4コースに分かれ、関心や進路に応じた実践的教育を学ぶ

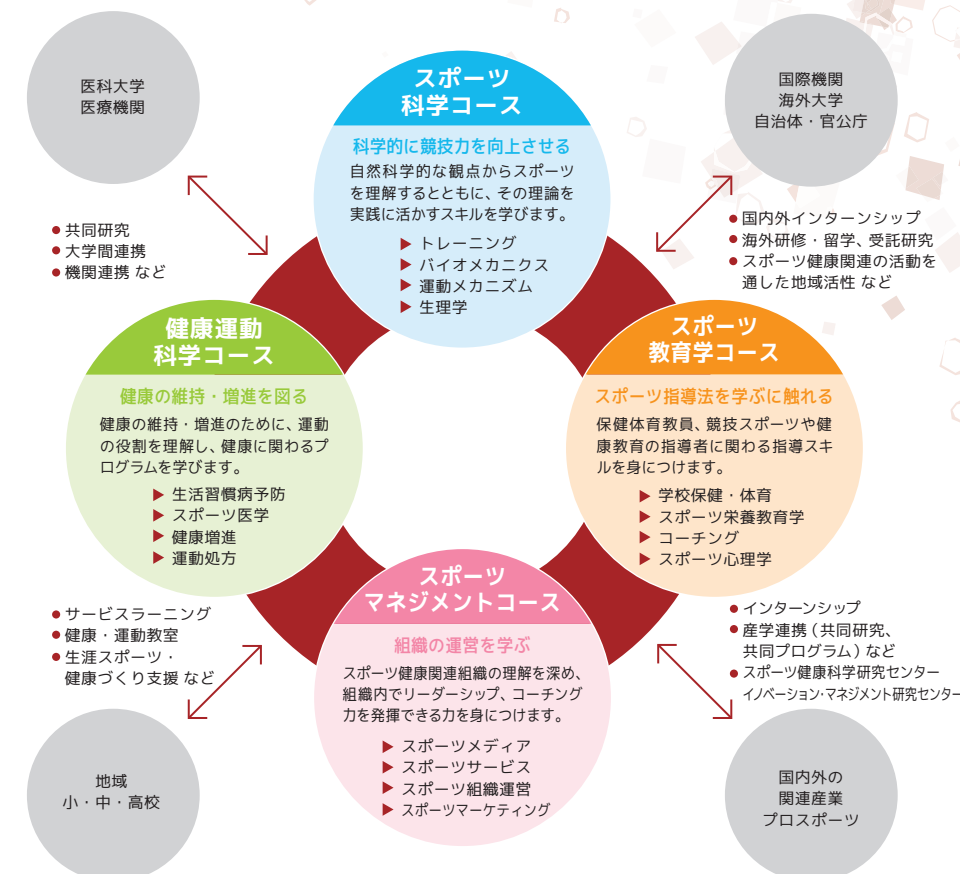
学際的に理論を学ぶとともに、国内外の組織等との連携や、最新鋭の施設・設備を活用した実践的教育を展開します。

身につけることができる知識・能力

- 1 スポーツ健康科学を構成する多様な分野の基礎知識
- 2 組織を動かすリーダーシップ・コーチングの力量
- 3 理論と実践を通したスポーツ健康分野の専門知識・技術



最先端の機器を使用した実習プログラム



学習段階に合わせ、各プログラムをバランス良く配置したカリキュラム 自然科学と社会科学を網羅した総合的な視点からスポーツと健康にアプローチします。

Curriculum	1回生		2回生	
	1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター
	基礎的力量			
基礎専門科目	リテラシー科目 日本語表現法 基礎理科 簿記入門	基礎数学	調査方法論	
	スポーツ健康科学 生涯スポーツ論	基礎スポーツ医学I(内科系) 学習科学論 基礎機能解剖論 マーケティング論 基礎生理学 基礎経営学	スポーツ栄養学 トレーニング科学 コーチング論	基礎スポーツ医学II(外科系) スポーツ心理学 スポーツマネジメント論 衛生学(公衆衛生含む) 健康産業論 リーダーシップ論 スポーツ統計学
専門科目	共通科目 スポーツ健康科学特殊講義I スポーツ健康科学セミナーI		スポーツ健康科学特殊講義II スポーツ健康科学セミナーII	インターンシップ(国内・海外) サービスマネジメント(専門)
	実習科目 スポーツ指導実習A(バスケットボール/ソフトボール) スポーツ指導実習A(バレーボール) スポーツ指導実習A(サッカー) スポーツ指導実習B(ダンス)	スポーツ指導実習B(陸上競技) スポーツ指導実習B(器械体操) スポーツ指導実習B(アダプテッドスポーツ)	スポーツ指導実習B(有酸素・レジスタンストレーニング) パフォーマンス測定評価実習I	パフォーマンス測定評価実習II

小集団
演習

基礎演習 ※25名程度

研究入門 ※20名程度

●1・2回生では、プロジェクト発信型英語「英語P(プロジェクト英語)」、「英語S(英語スキルワークショップ)」が外国語科目(必修)として配置されています。

コース選択実施	3回生		4回生	
	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター
	専門的力量			
各コース専門科目	スポーツ科学コース	エクササイズプログラミング論 スポーツ医工学 スポーツサイバネティクス論 スポーツ生化学 スポーツ生理学 スポーツバイオメカニクス論 スポーツ科学特殊講義		
	健康運動科学コース	運動処方論 健康運動指導論 健康増進科学 運動生理学 生活習慣病論 健康施策論 健康運動科学特殊講義		
	スポーツ教育学コース	スポーツ栄養教育学 学校保健学 スポーツ教育学 スポーツカウンセリング論 スポーツ指導論 アダプテッドスポーツ論 スポーツ教育学特殊講義		
	スポーツマネジメントコース	組織マネジメント論 サービスマネジメント論 スポーツビジネス論 スポーツ政策論 スポーツマーケティング論 スポーツメディア論 スポーツマネジメント特殊講義		
	専門英語(スポーツ健康科学I)	インターンシップ(健康運動指導士) 専門英語(スポーツ健康科学II)		
	スポーツ指導実習B(水泳)			
	健康スポーツ指導実習	解剖・生理学実習		

専門演習(ゼミナール) ※10名程度

専門演習(ゼミナール) ※10名程度

※1クラスあたりの人数
カリキュラムの内容は予定であり変更の可能性があります。

大学院進学
就職

「理論と実践」の学びを通じて、社会に貢献できる人材を育てる

スポーツ健康科学分野の基礎となる理論はもちろん、

実践的な教育にも重きを置き、実験・実習やインターンシップ、

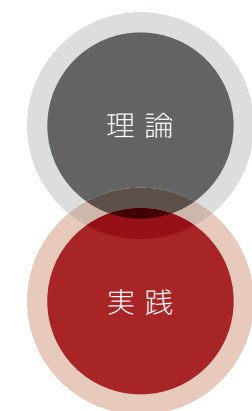
サービスマーケティングといった地域・企業と連携する科目も充実しています。

授業と課外活動が連携し、理論で学んだことを実践することで学びを深め、

現場で応用できる力を養成。

このような「理論と実践」双方の学びを通し、社会に貢献できる人材を育てます。

総合的・学際的な科目から
スポーツ健康分野を学ぶ



理論をスポーツ健康分野の現場で
実践する

インターンシップ

立命館大学はインターンシップの派遣者数で日本でも有数の規模を誇ります。そんな立命館大学のなかで、スポーツ健康科学部は、派遣者数・実習先(提携先)企業・団体数が最も多い学部です。実習先は、Jリーグのプロサッカークラブやプロ野球独立リーグ、スポーツ用品メーカーだけでなく、出版社や教育委員会など、多岐に渡ります。また、海外でのインターンシッププログラムも実施し、グローバルに活躍したい学生を応援しています。

学生インターンシップ体験談 [JISS〈国立スポーツ科学センター〉]

進路を考え出した3年生時、研究職への興味から、JISS(国立スポーツ科学センター)のインターンシップへ参加しました。その時、JISSの運営はJSC(日本スポーツ振興センター)が担っていて、JSCはJISSのようなトップアスリートの支援だけでなく、学校安全への支援やスポーツ振興に関する支援、体育館や競技場の運営など、日本のスポーツを幅広くサポートしていることを知りました。そして、その点が、本学部のスポーツ科学コースや教職課程で、スポーツ・健康について幅広く学んでいた私にとって最適な場所であると考え、就職を志望するようになりました。

現在は、学校安全部という部署で学校安全に関する業務を担当しています。主に、学校で発生したケガに対する医療費給付業務を行っている為、身体の部位やケガの名称と向き合う日々です。この業務は、本学部で学ぶような身体の部位やケガに対する知識を必要とする為、学部での学びは業務と深く関連しています。また、関係者に制度の説明をする機会では、学生時代に学会発表や卒業論文の口頭試問を経験していたことが、簡潔にそしてわかりやすく説明する力として活かされました。

このように、学生時代のインターンシップがきっかけで就職を志望したJSCにおいて、本学部での学びは多く活かされています。今、与えられている仕事で幅広い知識を更に習得しながら、将来的にはJISSで働くことが目標です。

内田 絵梨 さん

独立行政法人日本スポーツ振興センター
学校安全部 大阪給付課 勤務
大阪府・桜宮高等学校出身

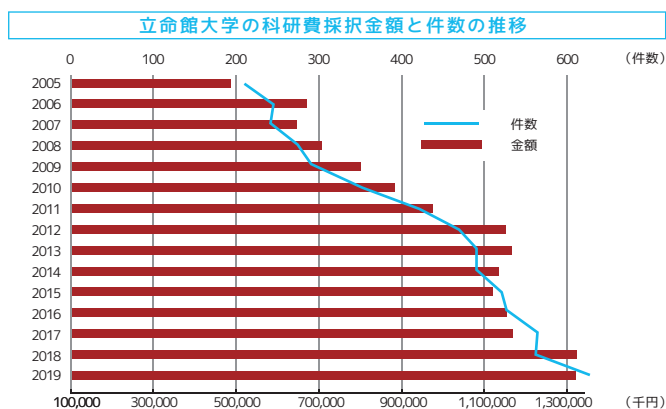
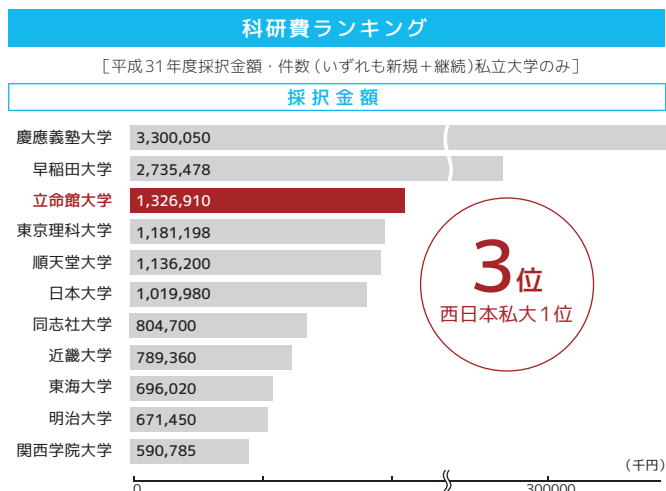


スポーツ健康科学分野において圧倒的に高い水準にある研究力

立命館大学は、文部科学省から発表された「平成30年度科学研究補助金(科研費)の配分」において、採択金額ランキングで慶應義塾大学、早稲田大学に次ぐ私大3位(西日本私大1位)、採択件数ランキングでは私大4位(西日本私大1位)となりました。

そんな立命館大学の中でもスポーツ健康科学部は、過年度の科研費新規採択率が50%(全国平均26.6%)、保有率92%と、最も高い学部となります。

各教員が高度な研究実績を持ち、国内外においてスポーツ健康科学分野をリードする研究を積み重ねてきました。この数値は、スポーツ健康科学分野の他大学と比較しても圧倒的に高い水準にあり、本学部の研究水準の高さを示しています。



グローバル・アスレティックトレーナー(GAT)プログラム



ATCとは

ATC (Certified Athletic Trainer) 米国 公認アスレティックトレーナー

1990年にアメリカ医学会において認知されたATCは、プロスポーツ選手から一般の人々を対象に、活動(運動)中に起こる外傷の救急措置、傷病や疫病の予防・認知・評価、リハビリテーションなどに関わる専門職であり、理学療法士や看護師等と同じ準医療従事者です。ATCの資格を得るためには、CAATE公認^{※1}のカリキュラムを持つ大学もしくは大学院を卒業(修了)し、BOC^{※2}による資格認定試験に合格する必要があります。更に、米国における制度変更により、今後認定試験の受験資格が学士から修士に引き上げられます。

※1 CAATE: The Commission on Accreditation of Athletic Training Education ※2 BOC: The Board of Certification Inc.

☑ GATプログラムとは



立命館大学 スポーツ健康科学部 学士号取得



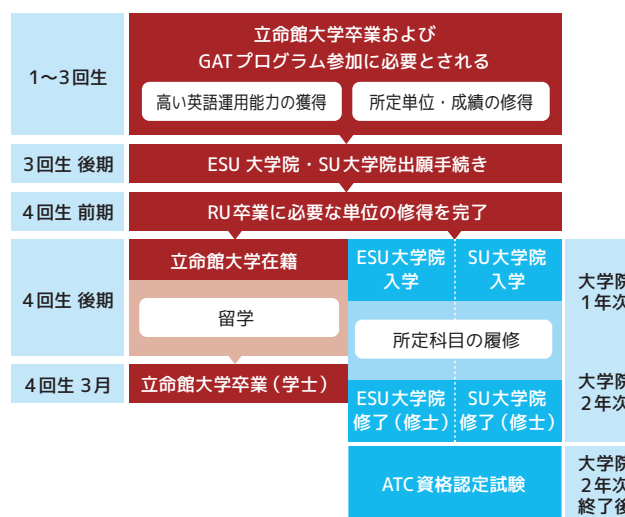
立命館大学の学士号とESU・SUの修士号を取得し ATCの資格取得を目指す独自の留学プログラム

GATプログラムは、CAATE公認のカリキュラムを備えた大学院を持つ米国のEast Stroudsburg University of Pennsylvania(以下、ESU)・Spalding University(以下、SU)と提携し、4回生の前期終了時まで立命館大学の卒業に必要な科目の修得を終え、夏頃から各大学院へ留学し、立命館大学の学士号と修士号の双方を取得することで、ATCの受験資格を得ることができるよう設計されています。

最大の特長は、立命館大学で修得した科目が各大学院進学のための先修要件として認められるということです。これにより、通常個人で留学する場合と比べて短い期間で修士号まで取得しATCの受験資格を得ることができます。

※早期卒業制度を利用した場合は、3年生修了をもって立命館大学卒業後、ESU大学院もしくはSU大学院へ留学するという形で、ATC受験資格取得までにかかる学費等の諸経費を軽減することが可能です。ただし、早期卒業制度を利用するには所定の基準を満たすことが必要となります。

☑ GATプログラムの流れ



※上記は一例であり、また大枠を記載した図です。実際のスケジュールはRU及び各大学院の学年暦に準じます。
※早期卒業制度を利用した場合は、この限りではありません。
※本学入学後、最終的に2つの学位を取得するには、少なくとも5年数ヶ月を要することとなります。

スポーツ健康科学部開講のGATプログラム向け科目や、それぞれの大学院への出願手続、大学院での講義などは、全て英語で実施されるため、高い英語運用能力が必須となります。また、最速で各大学院へ入学するためには、一定以上の成績で4年生の前期終了時まで立命館大学卒業に必要な科目を修得する必要があり、スポーツ健康科学部における履修をしっかりと積み重ねていくことが求められます。



WEB上にパンフレットを掲載しています。注目!!

GATプログラムの詳細やGATプログラム参加のための準備プログラム、そして各フィールドで活躍するATCの方々や学生のインタビューなどを紹介しています。

スポーツ健康科学部 立命館 検索

トップレベルの教員陣が、 高度な研究活動を展開

高度な研究実績を持ち、国内外において

スポーツ健康科学分野をリードする教員陣が揃っています。

専門分野の枠を超えて有機的に連携し、

高度な教育・研究を実践しています。



教員の実績インフォメーション（抜粋）

経歴・受賞歴等

- 〈田畑泉、家光素行〉
- 第22回 秩父宮記念スポーツ医・科学奨励賞（2020）
- 〈和田由佳子〉
- 平成30年度 日本スポーツマネジメント学会 学会奨励賞（2019）

塚本 敏人

- Gatorade Sports Science Institute and American College of Sports Medicine (GSSI-ACSM). Young Investigator Award (2017)
- 日本体力医学会、国際学術交流奨励賞（第1位）(2017)
- European College of Sport Science. GSSI Young Scholar Travel Grant Award (2016)

執筆論文・書籍

- 〈上田憲嗣〉
- 児童期における動作コーディネーションと体力の関係、トレーニング科学、31/ 1, 45-52、2019
- 短時間運動が児童の握力及びボール投げならびに運動有能感に与える影響について、スポーツ教育学研究、39/ 2, 1-11、2020

〈海老久美子〉

- エッセンシャルスポーツ栄養学（編集・共著／市村出版）

〈大友 智〉

- 平成29年度小学校新学習指導要領ポイント総整理 体育（共著／東洋館出版社）

〈永浜明日〉

- 「間」に生起する自閉症スペクトラム／大阪大学出版会、2020

〈山浦一保〉

- Perceived goal instrumentality is associated with forgiveness: A test of the valuable relationships hypothesis. Evolution and Human Behavior, 41(1), (共著)58-68.2020
- JAIO35周年記念企画（講座本）第2巻 人を活かす人事部門（共著／北大路書房），pp.127-148. 2019
- 社会心理学のリーダーシップ研究のパスペクティブII（共著／ナカニシヤ出版），pp. 83-107.2017

〈和田由佳子〉

- プロ野球チームのブランド連想がアタッチメントに及ぼす影響：パシフィックリーグに所属するチームを対象として。スポーツマネジメント研究, オンライン早期公開.2020（共著）
- Comparison between First and Repeat Spectators of Super Rugby Games: Focusing on Spectators' Motivation, Psychological Connections and Behavioural Intentions. Social System Studies, 39: 43-64.2019（共著）

教員情報（詳細）はこちら！

教員の研究内容等詳しい情報は、
「スポーツ健康科学部ウェブサイト」

<http://www.ritsumeai.ac.jp/shs/introduce/faculty-list.html/>

スポーツ健康科学部 立命館

検索

スポーツ科学

アスリートに限らない

身体運動の原理原則の解明

人体の運動力学、バイオメカニクスの研究を軸に、運動の原理原則の解明に力を入れています。経験的に良いとされる身体の使い方で、まだ科学的に立証されていないものは多くありますが、近年の計測機器や解析機器の進化により、分析できる対象や動作が広がってきました。

現在、メーカーと共同で、足のアーチ構造が人体へ及ぼす影響や、足のアーチを作るための靴下やインソールの有用性を研究しています。

将来的にはアーチ構造を持ち、身体への負荷を軽減できる靴下の開発を目指しています。



長野 明紀 教授

【専門分野】
スポーツサイバネティクス、
スポーツバイオメカニクス
【研究テーマ】
人体の運動制御のメカニズムに関する
研究運動機能向上のための工学的支援



家光 素行 教授

【専門分野】スポーツ生理・生化学
【研究テーマ】運動および栄養摂取の
効果と機序解明に関する研究



伊坂 忠夫 教授

【専門分野】スポーツバイオメカニクス、
スポーツ科学
【研究テーマ】スポーツ競技力ならびに
日常生活活動を活めるための
応用バイオメカニクス



金久 博昭 教授

【専門分野】スポーツ科学
【研究テーマ】日本人の筋のト
レーナビリティ、走運動のメ
カニクス



後藤 一成 教授

【専門分野】トレーニング科学
【研究テーマ】競技力向上および
健康増進のためのトレーニングや
コンディショニングに関する研究



塩澤 成弘 教授

【専門分野】スポーツ工学、生体
工学、医用工学
【研究テーマ】スポーツ・健康・
医療分野の生体計測センサ/デ
バイスに関する研究



藤田 聡 教授

【専門分野】運動生理・生化学
【研究テーマ】効率的な骨格筋肥
大を目的とした運動と栄養摂取
に関する研究



福谷 充輝 講師

【専門分野】トレーニング科学・
スポーツバイオメカニクス
【研究テーマ】スポーツパフォー
マンス向上の基礎となる、骨格筋
の力学的、生理学的特徴の解明

健康運動科学

科学することであらゆる

スポーツ傷害からアスリートを守る

スポーツにはケガ（傷害）はつきものですが、傷害からうまく復帰ができず、パフォーマンスを発揮できないアスリートが多くいます。傷害の発生や、痛み持続には、必ず原因があります。しかし、傷害に対する理解が不足し、その原因が解明できていません。私たちはスポーツ傷害を様々な角度から科学することでスポーツ傷害への理解を深め、それを治療や予防につなげ、アスリートを傷害から守ることを使命としています。

理論を実践に活かし、実際に中高生からプロスポーツ選手までの傷害サポートを行っています。



篠原 靖司 教授

【専門分野】
スポーツ医学
整形外科科学
【研究テーマ】
機能解剖学的アプローチによる
スポーツ傷害に関する研究



真田 樹義 教授

【専門分野】応用健康科学・運動
処方
【研究テーマ】生活習慣病予防のた
めのテーラード運動処方研究
異分野の連携がもたらす価値創造



田畑 泉 教授

【専門分野】健康科学
【研究テーマ】身体活動・運動によ
る生活習慣病予防に関する研究、競
技力向上のための高強度・短時間・
間欠的トレーニングに関する研究



橋本 健志 教授

【専門分野】運動生理・生化学
【研究テーマ】脳機能や脂肪燃焼
の亢進および乳酸の有効利用に
関する研究



村上 晴香 教授

【専門分野】行動科学・運動遺伝学
【研究テーマ】運動行動誘発を連
した健康づくりに関する研究



岸本 康平 講師

【専門分野】スポーツ医学
【研究テーマ】スポーツによる慢
性疼痛の原因解明と予防法に關する
研究



寺田 昌史 講師

【専門分野】スポーツ医学・運動
神経生理学・バイオメカニクス
【研究テーマ】身体運動にともなう
下肢傷害(特に足関節捻挫とCAI)がど
のように人の「生活と健康」に影響を
与えるかを探る

スポーツ教育学

全ての子供に運動・

スポーツの価値の享受を

運動が嫌いな子供も好きな子供も、等しく運動・スポーツの価値を味わい、人生を豊かに過ごして欲しい。そんな思いを実現したいと考えています。そのために、子供達の運動への取組、指導者との会話、子供達同士の話し合い等を分析し、法則を探求してきました。それらを踏まえて、滋賀県、北九州市、高知県、茨木市、群馬県等で先生を対象とした研究や研修を進めています。その結果、研修を受けた先生の指導により、子供の体育嫌いが少なくなったという効果を得ました。



大友 智 教授

【専門分野】
スポーツ教育学・体育科教育学
【研究テーマ】
スポーツ指導場面・体育学習場面にお
ける教授・学習に関する研究



海老 久美子 教授

【専門分野】スポーツ栄養学、栄
養教育学
【研究テーマ】栄養的支援と食教育
の効果についての研究



岡本 直輝 教授

【専門分野】コーチング
【研究テーマ】競技力向上に關する
コーチング研究



上田 憲嗣 准教授

【専門分野】発達発達学、スポー
ツ教育学
【研究テーマ】子どもの身体と運
動の発達と体育・スポーツ
指導に関する研究



河井 亨 准教授

【専門分野】大学教育学、学習論、
キャリア形成
【研究テーマ】「大学生の学びと
成長」に関する理論的・実証的・
実践的研究



永浜 明日 准教授

【専門分野】学校保健学、アダブ
テッド・スポーツ
【研究テーマ】インクルーシブ体
育のあり方、指導者育成に関する
研究

ビジネスと社会貢献の両面から スポーツマネジメントを考える

私は2001年から、アメリカのプロスポーツとして最も成功を収めているNFLとのパートナーシップを通してスポーツビジネスを研究してきました。そこにはスポーツがビジネスとして自立していくための、さまざまな方法論があります。一方で、スポーツを通じた社会貢献活動と、それを支える企業の存在というもの、スポーツマネジメントの重要な側面です。本学部は2012年度、スポーツ文化振興を推進する一般財団法人ユナイテッド・スポーツ・ファウンデーションと学術協定を締結。ビジネスと社会貢献の両面から、スポーツマネジメントを実践的に学べる環境をさらに充実させています。



種子田 稜 教授

【専門分野】
スポーツマネジメント
【研究テーマ】
プロスポーツビジネス
モデルの研究



長横 仁 教授

【専門分野】スポーツマネジメント
【研究テーマ】スポーツによるソー
シャル・キャピタルとまちづくり、
異分野の連携がもたらす価値創造



山浦 一保 教授

【専門分野】産業・組織心理学
【研究テーマ】信頼ベースのリー
ダーシップとチーム力向上に關
する心理学的研究



和田 由佳子 講師

【専門分野】スポーツマネジメント・
スポーツマーケティング
【研究テーマ】スポーツ組織とイ
ベントが地域にもたらす影響およ
びスポーツ消費者に関する研究



祐伯 敦史 准教授

【専門分野】神経言語学
【研究テーマ】言語理解や習得
のプロセスについて研究・解
明する



嶋村 貢志 講師

【専門分野】理論言語学（生成
統語論、形式意味論）
【研究テーマ】格・一致に關する
統語的現象の進言語的研究。
日本語の補文構造の再考

社会人基礎力とグローバルな視野を備えた人材には、 多様な進路が広がっている

卒業生の声 [1]



大崎 智彦 さん

株式会社野村総合研究所
クラウドサービス開発部
システムエンジニア
滋賀県・滋賀県立八日市高等学校出身

好きなことに没頭することが 自分を成長させる近道

私は大学卒業後、京都大学の大学院へ進学した後、現在の会社に就職をしました。

スポーツ健康科学部を選んだ理由は、高校の部活動で大会中に右足首の怪我をした時に、テーピング一つでプレー可能な状態にしてもらった経験からスポーツトレーナーの興味を持ったことです。

大学で学ぶ中で、競技スポーツより健康に関する需要を感じ、健康運動科学分野に興味を持ちました。そのなかでも、運動や薬理学的刺激によって、骨格筋細胞がどのように変化するかという部分に興味があり、通常であれば研究は3年生から始めるものですが、2年生の時から橋本先生の研究に参加させてもらいました。充実した設備や、先生方・先輩方のバックアップのおかげで興味のある研究に没頭することができ、その時間が自分をとても成長させたと感じています。

現在はシステムエンジニアとして働いており、全く違うジャンルの世界にはなりますが、自分が何かの役に立てたと感じた時はとてもやりがいを感じます。

新しいシステムを作って提案する機会も多いシステムエンジニアという立場を活かし、将来的にはスポーツに関わる仕事がしたいと考えています。

卒業生の声 [2]



玉木 彩水 さん

大学院2年生
スポーツ健康科学研究科博士課程前期課程
立命館大学スポーツ健康科学部出身
京都府・立命館高等学校出身

全ての子が“その子らしく”育つ 幼児教育を目指して

高校生の時に祖父が病気になったことがきっかけで、健康運動指導士に興味を持ち本学部に入学しました。

入学して感じたことは、本学部にはポジティブでアグレッシブな人が多いということでした。その反面、自分は自尊心が低く心配性であり、その原因が幼少期における保育環境、特に身体活動量の違いにあるのではないかと考えるようになりました。

しかし研究を進めるなかで、自尊感情の醸成は、幼少期の身体活動量だけに起因するものではなく、保育者のかかわり方を含む保育環境そのものが関係していると感じ、もっと違う角度で幼児教育について研究するため大学院へ進みました。

大学院では、障がいの有無にかかわらず、支援が必要な子どもにフォーカスを当て、同じ場所で学び合う保育を指す“インクルーシブ保育”や“より良い保育環境”をキーワードに研究をしています。また保育現場をよく知るために、奨学金をもらい全国の保育所を訪問する活動も研究と並行して行っています。

将来は幼児教育のアドバイザーとして、全ての子どもが、その子の成長速度で育つことのできる幼児教育の現場を作って行きたいです。

卒業生の声 [3]



鈴木 拓也 さん

East Stroudsburg University of Pennsylvania
大学院卒業
立命館大学スポーツ健康科学部出身

充実したESUの大学院生活を終え さらなる経験を積む

GAT programの第1期生として、2019年5月、無事に米国ESU(※p6参照)でのプログラムを修了しました。同年4月には全米アスレティックトレーナーズ協会(NATA)の公認試験(BOC)に合格(ATCを取得)でき、ついに念願のアスレティックトレーナーとしての人生が始まります。

ESUのプログラムは実習先が幅広く整っているため、様々なアスレティックトレーナーの方から学ぶことができ、かけがえのない経験をすることができました。異なる文化、価値観に触れながら日々学んだこの2年間は、私を一回り大きく成長させてくれました。現地の授業に苦労しなかったのも、立命館大学GAT programで3年半“事前準備”を徹底して取り組めたからです。

今後も米国で、アスレティックトレーナーとしてさらなる経験を現場で積んでいき、私の掲げる「日本の大学、または高校での米国をモデルとしたアスレティックトレーニング組織の設立」というキャリアゴールに向けて、ハードワークし続けます。

総合的・学際的な学びを通し、専門知識とその関連領域の幅広い基礎知識を養い、
理論と実践の融合したカリキュラムで身につけた社会人基礎力やグローバルな視野を
備えた人材は、さまざまな分野での活躍が期待されます。

在学生の声 [1]



友尾 圭吾 さん

3年生
茨城県・竹園高等学校出身

世界で活躍できる 研究者を目指して

小学生の頃、国立スポーツ科学センターが水泳の北島康介選手に対して科学的な研究をしている記事を見て、スポーツの科学的な側面に興味を持ちました。将来はスポーツ健康科学の分野で研究職に就きたいと思いスポ健に入学しました。

入学してすぐに研究をやりたいと学部長に伝えました。通常は3年生から各コースに分かれ研究に入るのですが、すぐにご指導頂ける教員を紹介してもらうことができました。1年生の春から課外活動として研究をはじめることができたのも、アットホームで教員と学生との距離が近い本学部だからこそだと思います。

1年生の10月に、初めて学会で発表する機会を頂きました。2年生の時には海外での学会発表も経験することができました。特に海外の学会では、発表されている方の多くは大学院生や教員、研究員でしたので、学部生でしかも2年生で参加していることに驚かれました。

これまで、MRIを使って脚の断面図を撮影し、アスリートと一般人の筋や腱の形態を比較することでその特性を調べる研究や、認知機能の改善にはどのような運動が良いのかといった、主として

取得可能な資格

- 健康運動指導士※1
- 健康運動実践指導者※1
- 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者※2
- トレーニング指導者※1
- ATC(米国 公認アスレティックトレーナー)
- 中学校教諭一種免許状(保健体育)
- 高等学校教諭一種免許状(保健体育)

※1 認定試験の受験資格が得られます。
※2 資格取得に必要な基礎的な科目の修得が可能です。

立命館大学でキラリと輝く先輩を紹介中！



就職分野と実績

■スポーツ関連企業

(株)アシックス・美津濃(株)グンゼスポーツ(株)・(株)ゴールドウィン・ゼビオ(株)・セントラルスポーツ(株)・つるや(株)・(株)デサント・(株)ドーム・(株)東大阪スタジアム・(株)ビバ・山本光学(株)・(株)楽天野球団・(株)モンベル 他

■教職員・公務員

国家公務員一般職・地方公務員(上級職)・京都府教育委員会(小学校・中学校)・京都市教育委員会(小学校)・長浜市役所 他

■サービス・マスコミ

(株)TBSテレビ・(株)デイリースポーツ・東海テレビ放送(株)・(株)アサツー ディ・ケイ・東映(株)・出光興産(株)・大阪ガス(株)・関西電力(株)・NTTドコモ・静岡ガス(株)・北海道電力(株)・中部電力(株)・北海道旅客鉄道(株)・西日本旅客鉄道(株)・九州旅客鉄道(株)・伊藤忠商事(株)・三井物産(株)・豊田通商(株)・日本航空(株)・全日本空輸(株)・(株)オリエンタルランド 他

■食品

アサヒフードアンドヘルスケア(株)・アスビー食品(株)・カゴメ(株)・(株)ブルボン・(株)ヤクルト本社・ハウスウェルネスフーズ(株)・キリン(株)・サントリーホールディングス(株)・味の素(株)・日清食品(株) 他

■医療

武田薬品工業(株)・第一三共(株)・アステラス製薬(株)・塩野義製薬(株)・シスメックス(株)・ゼリア新薬工業(株)・東レメディカル(株)・日本赤十字社・ロート製薬(株)・久光製薬(株) 他

■メーカー

パナソニック(株)・キヤノン(株)・テルモ(株)・(株)豊田自動織機・住友電気工業(株)・(株)LIXIL・(株)ワコール・日本たばこ産業(株)・京セラ(株)・豊田合成(株)・(株)ファーストリテイリング・帝人(株)・富士通(株)・花王(株)・オムロン(株)他

■金融・保険

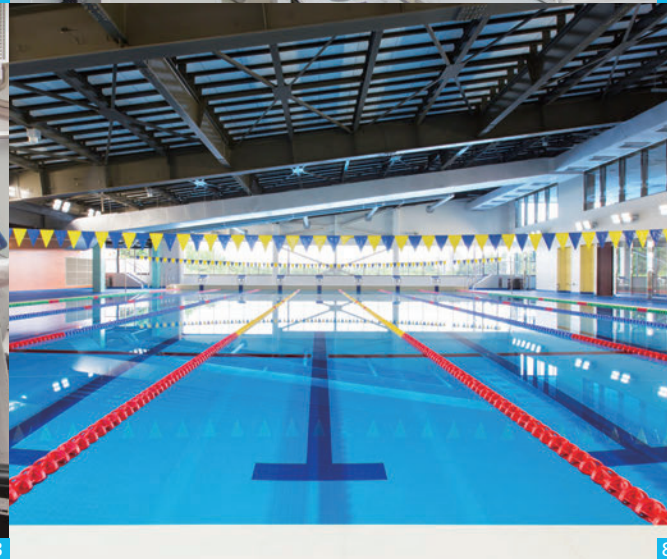
(株)香川銀行・(株)京都銀行・京都信用金庫・京都中央信用金庫・(株)滋賀銀行・住友生命保険(相)・第一生命保険(株)・日本生命保険(相)・三井住友海上火災保険(株)・(株)三井住友銀行・明治田安生命保険(相)・(株)三重銀行・(株)三菱東京UFJ銀行・(株)みずほフィナンシャルグループ・野村證券(株) 他

■大学院進学

スポーツ健康科学研究科 博士課程前期課程

最先端の教育・研究環境が、 高度で充実した学びをサポート

最先端の教育・研究を実現するため、高度な研究に欠かせない充実した施設・設備を保有しています。
興味のある研究を深めるために学部生のうちから、このような環境を存分に利用することができます。



学部生の
うちから
最新鋭の設備を
使用できます

1 スポーツパフォーマンス測定室

野球やゴルフ、ランニングなどのスポーツ動作をはじめ、あらゆる動作の計測・解析が行える多目的スペース。複数の「ハイスピードカメラ」を設置しており、投げたボールの回転をスローモーションで観察するといった相対分析もできます。

2 エネルギー代謝測定室

「壁面のセンサ」で人間の1日の正確なエネルギー消費量を測定することが可能です。

3 低酸素実験室

低酸素環境下でのトレーニングが身体に与える影響を解析することができます。

4 栄養調理実習室

システムキッチンや調理器具が整っており、競技力向上につながるメニューや栄養価の高い料理などを実際に調理することが可能です。またダイニング部分は、子どもから高齢者までを対象とした「食育」を実践する場として活用します。

5 トレーニング指導実習室

トップアスリートの筋力増加を想定した各種「トレーニングマシン」や「フリーウエイト機器」を完備。現場におけるトレーニング技術の習得をめざします。

6 スポーツ健康指導実験室

筋パワーや持久力の測定評価ができる「パフォーマンス測定システム」や、人間の体型を3次元で瞬時に解析する「3次元人体計測システム」など、多様な機器を設置しています。

7 MRシステム・骨密度測定装置

人間の体内の状態や脳内の働きを調べることができる「MRシステム」、骨密度や体脂肪、除脂肪量などの体組成を推定する「骨密度測定装置」を設置。これらを利用して、スポーツ健康分野に関連した高度な研究ができます。日本のスポーツ健康科学関連の施設では、国立スポーツ科学センターに並び、最新鋭の設備となります。

8 スポーツ健康commons

通年使用可能な25m公認プール(温水)7レーン、50mの屋外プール4レーンを設置した体育館は、実習科目や測定実験等で利用することが可能です。

奨学金

学生を全面的にサポートする充実の奨学金制度

立命館大学では豊富な独自奨学金を設け、学業はもちろん、スポーツ活動、留学など、自分の目標にチャレンジする学生を幅広くサポートしています。本学独自の給付制奨学金のほか、日本学生支援機構や公的機関・民間団体などの各種奨学金制度が充実。

→ 詳しくはリッツネットをご覧ください。

[立命館 入試情報サイト](#)

[検索](#)

詳細は入学試験要項（（総合型選抜）AO：6月下旬、一般：10月下旬発行予定）でご確認ください。

檢 索

※各入試方式の出願範囲等については、入学試験要項で確認して下さい。 ※インターネット出願の入試方式の場合でも、調査書等の出願書類は別途郵送が必要であり、出願期間最終日の消印有効です。



※ダイヤの詳細は京阪バスおよび近江鉄道バスのホームページでご確認ください。